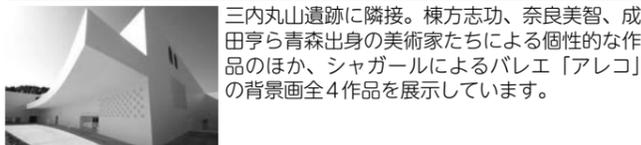


□が施設、■がイベントです。実施される内容によって、**無**：無料・**割**：割引・**特**：特典のマークをつけています。施設によって期間や対象者などが異なりますので、詳しくは欄内下段をご覧ください。

1 青森県立美術館 津軽◆青森市 無



三内丸山遺跡に隣接。棟方志功、奈良美智、成田亨ら青森出身の美術家たちによる個性的な作品のほか、シャガールによるパレエ「アレコ」の背景画全4作品を展示しています。

●無料（10月31日（土））コレクション展のみ

開 9:30～17:00（最終入館16:30）
 休 毎月第2・第4月曜日（祝日の場合は翌日）及び年末年始
 所 青森市安田字近野185
 電 017-783-3000
 網 http://www.aomori-museum.jp

2 青森県近代文学館 津軽◆青森市 無



青森県立図書館の2階にあり、石坂洋次郎・太宰治・寺山修司など青森県を代表する13人の作家について常設展示しています。太宰治「人間失格」の草稿も展示しています。

●無料（通年）

開 9:00～17:00
 休 期間中10/22、11/11、11/26～12/3
 所 青森市荒川字藤戸119-7 青森県立図書館2階
 電 017-739-2575
 網 http://www.plib.pref.aomori.lg.jp/viewer/info.html?id=30

2-1 企画展「ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展」

◎10月24日（土）～令和3年1月11日（月・祝）
 当館で収蔵している高木彬光の資料や、彬光の旧蔵図書を展示し、ミステリーに新たな側面を持たせた高木彬光の業績を紹介します。

2-2 エクステンド常設展示「石坂洋次郎の著書」

◎5月29日（金）～11月25日（水）
 常設展示室の石坂洋次郎コーナーを期間限定で拡大展示しています。生誕120年という節目を迎えた石坂洋次郎の膨大な著作から、主要なものをピックアップして展示します。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 青森県立美術館 | 12 八戸南部氏庭園 秋の開園 |
| 2 青森県近代文学館 | 13 八戸市博物館 |
| 3 三内丸山遺跡センター | 14 八戸市史跡根城の広場 |
| 4 棟方志功記念館 | 15 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 |
| 5 国指定名勝 瑞楽園 | 16 八戸市南郷歴史民俗資料館 |
| 6 弘前学院外人宣教師館 | 17 櫛引八幡宮 国宝館 |
| 7 つがる市森田歴史民俗資料館 | 18 十和田市現代美術館 |
| 8 つがる市木造亀ヶ岡考古資料室 | 19 十和田市馬事公苑 称徳館 |
| 9 つがる市縄文住居展示資料館(カルコ) | 20 六ヶ所村立郷土館 |
| 10 深浦町歴史民俗資料館・美術館 | 21 階上町民文化祭 |
| 11 風待ち館 | |

3 三内丸山遺跡センター 津軽◆青森市 無



特別史跡三内丸山遺跡は縄文時代の「ムラ」を体験できる公園です。縄文時遊館では、重要文化財のほか縄文人の生活を再現した展示を行っており、縄文時代のもの作りも体験できます。

●無料（9月26日（土）～9月27日（日））

開 9:00～17:00（8/1～9/30は18:00まで）（最終入館16:30（8/1～9/30は17:30まで））
 休 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）、11/15～11/20、12/28～1/1
 所 青森市三内字丸山305
 電 017-766-8282
 網 https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

3-1 三内丸山縄文秋祭り

◎9月26日（土）～9月27日（日）
 三内丸山遺跡で秋と縄文文化を楽しめる2日間です。高所作業車で六本柱と同じ高さから景色を眺める「縄文パノラマビュー!!」などのイベントを開催します。

3-2 特別史跡指定20周年記念企画展「三内丸山と大湯－縄文の大集落からストーンサークルへ－」

◎7月18日（土）～11月8日（日）
 北海道・北東北の縄文遺跡群を代表する特別史跡三内丸山遺跡と特別史跡大湯環状列石。縄文時代の社会とその変化をそれぞれの遺跡のモニュメントなどから読み解いていきます。
 ※三内丸山遺跡センターが開催する企画展は、無料です。（常設展観覧料は必要）

3-3 企画展「イミテーション・ワールド」

◎11月28日（土）～令和3年3月14日（日）
 縄文時代には、土器や石棒などのミニチュアや石製の道具を粘土で模倣して作ったものが多くみられます。さまざまな事例から、縄文時代の模倣行為を考えます。
 ※三内丸山遺跡センターが開催する企画展は、無料です。（常設展観覧料は必要）

4 棟方志功記念館 津軽◆青森市 特



世界的板画家・棟方志功の文化勲章受章を記念し1975年に開館。棟方作品では国内最大を誇るコレクションに加え、板木など関連資料を年4回展示替えしながら幅広く紹介しています。

●特典（10月31日（土）、11月1日（日））有料入館者 記念品をプレゼント

開 9:00（11月～3月は9:30開館）～17:00
 休 月曜日（祝日は開館）12/29～1/1
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、休館日が異なる場合があります。
 所 青森市松原2-1-2
 電 017-777-4567
 網 http://munakatashiko-museum.jp/

4-1 秋の展示「詩歌とともに－棟方と文学」

◎9月24日（木）～12月6日（日）
 秋の展示では、棟方の心に沁み、創作意欲を湧き出させた文学作品に触発されて生まれた作品を紹介します。

5 国指定名勝 瑞楽園 津軽◆弘前市 特無



大石武学流枯山水庭園で、津軽藩政時代に高杉組の大庄屋を代々つとめていた豪農対馬家の書院式庭園です。天保10年に建てられた旧対馬家主屋とともに公開しています。

●特典（10月31日（土）・11月1日（日））来園者先着20名様 花鉢プレゼント
 ●無料（通年）

開 9:30～16:30
 休 11/21～4/19
 所 弘前市大字宮館字宮館沢26-2
 電 0172-55-6806
 網 http://zuirakuen.com/

5-1 公開雪囲作業及び雪囲教室



◎10月31日（土）
 登録造園基幹技能者を講師として瑞楽園の雪囲作業を見学し、各家庭にある庭木を雪から守る囲い方法を学びます。
 参加費 無料

6 弘前学院外人宣教師館 津軽◆弘前市 無



尖がり屋根と八角形の尖塔が印象的な外観です。また尖塔先端の突針飾りや煉瓦積煙突など洋館の意匠を取り入れ、1・2階は縁側を設けた和洋折衷の造りとなっています。

●無料（通年）

開 9:00（火曜日～土曜日）～16:00（火曜日～金曜日）、12:00（土曜日）
 休 日、月、祝日、6/25（創立記念日）、8/13、12/29～1/3
 所 弘前市大字稔町13番地1
 電 0172-36-5224

7 つがる市森田歴史民俗資料館 津軽◆つがる市 無



人面付深鉢形土器など、重要文化財に指定された219点の土器・土偶などを中心とした石神遺跡からの出土品を見ることができます。年代順に並んだ円筒土器は圧巻です。

●無料（10月17日（土）～11月3日（火・祝）（ただし休館日は除く））

開 9:00～16:00
 休 月・火・木・金曜日、年末年始
 所 つがる市森田町森田月見野340-2
 電 0173-26-2201
 網 http://www.city.tsugaru.aomori.jp/soshiki/kyoiku/syakaikyoku/sihakukan/1790.html

8 つがる市木造亀ヶ岡考古資料室 津軽◆つがる市 無



亀ヶ岡遺跡から発見された土器・石器や土偶など1,000点を超える資料を展示しています。

●無料（10月17日（土）～11月3日（火・祝）（ただし休館日は除く））

開 9:00～16:00
 休 月曜日（祝休日の場合は翌平日）、祝日の翌日（土・日・祝休日の場合は翌平日）、年末年始
 所 つがる市木造館岡屏風山195
 電 0173-45-3450
 網 http://www.city.tsugaru.aomori.jp/soshiki/kyoiku/syakaikyoku/sihakukan/1789.html

9 つがる市縄文住居展示資料館(カルコ) 津軽◆つがる市 無



亀ヶ岡遺跡から出土した遮光器土偶の精巧なレプリカや藍胎漆器のほか、つがる市内や青森県内の遺跡から出土した土器・石器や縄文晩期の復元竪穴住居などを展示しています。

●無料（10月17日（土）～11月3日（火・祝）（ただし休館日は除く））

開 9:00～16:00
 休 月曜日（祝休日の場合は翌平日）、祝日の翌日（土・日・祝休日の場合は翌平日）、年末年始
 所 つがる市木造若緑59-1
 電 0173-42-6490
 網 http://www.city.tsugaru.aomori.jp/soshiki/kyoiku/syakaikyoku/sihakukan/1788.html

10 深浦町歴史民俗資料館・美術館 津軽◆深浦町 割



歴史民俗資料館では、古代の深浦から藩政時代、現代に至るまでの郷土の歴史を紹介しています。美術館では、県内外で活躍する作家や町出身者の絵画を展示しています。

●割引（10月24日（土）～11月3日（火・祝））企画展・常設展示（入館料半額）

開 8:30～17:00（最終入館16:30）
 休 4月～10月/無休 11月～3月/月曜日（祝日の場合はその翌日）
 所 西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢80-1
 電 0173-74-3882
 網 http://www.town.fukaura.lg.jp/fixe_docs/20198070001

10-1 企画展・常設展（予定）

県内作家の作品をお借りしての展示、または町所有の絵画等の展示（コロナウイルスの感染状況を考慮し、内容を決定する予定）

11 風待ち館 津軽◆深浦町 無



北前船の歴史を多方面からとらえ、様々な角度から紹介しています。北前船に興味を抱き、知識を深め、往時に思いを馳せながら、創造できる展示空間を展開していきます。

●無料（10月31日（土）、11月1日（日））常設展示のみ

開 9:00～17:00（最終入館16:30）
 休 年末年始（12/31～1/1まで）
 所 西津軽郡深浦町大字深浦字浜町272-1
 電 0173-74-3553
 網 http://www.fukaura.jp

12-1 八戸南部氏庭園 秋の開園 三八上北◆八戸市



◎10月下旬 10:00～16:00

【会 場】八戸南部氏庭園（八戸市売市四丁目23-3）
 【問合せ】0178-43-9156

1847年に作庭され、藩政時代の庭園芸術を今日に伝える八戸南部氏庭園を多くの方々に鑑賞して頂くため、庭園内の様々な樹木の紅葉の時期に合わせて開園します。

網 https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/machizukuribunkasuishinshitsu/bunka/03/3013.html

13 八戸市博物館 無



八戸市の歴史、考古、民俗の各分野について資料を展示。また、無形資料展示室では郷土の昔話や方言、そして市内各学校の校歌などを楽しい映像とともに視聴できます。

●無料（11月3日（火・祝））常設展・特別展

開 9:00～17:00（最終入館 16:30）
休 月曜日（第1月曜日、祝日・振替休日を除く）／祝日・振替休日の翌日（土・日、祝日を除く）
所 八戸市大字根城字東構 35-1
電 0178-44-8111
http://www.hachinohe.ed.jp/haku/

13-1 秋季特別展「暮らしの中の手仕事」

◎10月3日（土）から11月23日（月・祝）

着用するものや手作りの道具を取り上げ、人々の暮らしの中で育まれた、創意工夫からモノを作り出してきた手仕事について紹介し、現代の暮らしとの接点を探ります。

三八上北◆八戸市

14 八戸市史跡根城の広場 無



根城は、建武元年（1334）南部師行による築城と伝えられ、根城南部氏の領地替えまで約300年間使われました。昭和16年に国史跡に指定され、復原整備されています。

●無料（11月3日（火・祝））本丸跡

開 9:00～17:00（最終入館 16:30）
休 月曜日（第1月曜日、祝日・振替休日を除く）／祝日・振替休日の翌日（土・日、祝日を除く）
所 八戸市大字根城字根城 47
電 0178-41-1726
http://www.hachinohe-cb.jp/nej/index.html

14-1 鎧と小袖姿で記念撮影



◎11月7日（土）、8日（日）

【会 場】八戸市史跡根城の広場・本丸跡主殿
史跡根城の広場本丸跡主殿内で鎧または小袖を着用して記念撮影ができます。
※本丸跡への入場は有料（11月3日を除く）、鎧または小袖の着用は無料。

三八上北◆八戸市

15 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 無



是川縄文館では、国宝「合掌土偶」をはじめ、是川遺跡と風張1遺跡の重要文化財をたくさん公開しており、縄文のイメージを一変させる感動が得られます。

●無料（11月3日（火・祝））

開 9:00～17:00（最終入館 16:30）
休 月曜日（第1月曜日、祝日・振替休日の場合は閉館）、祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は閉館）、年末年始（12/27～1/4）
所 八戸市大字是川字横山 1
電 0178-38-9511
https://www.korekawa-jomon.jp/

15-1 令和2年度秋季企画展「白神山地の縄文」



◎11月3日（火・祝）
※会期：10月10日（土）～11月23日（月・祝）
白神山地東縁の山あいに縄文時代の遺構や遺物がたくさんみつかりました。本展では、白神山麓の山あいで生きた縄文人の社会や文化を豊富な出土品とともに紹介します。

15-2 企画展考古学講座

◎11月7日（土） 14:00～16:00
令和2年度秋季企画展「白神山地の縄文」にちなみ、白神山麓の山あいに生きた縄文人の社会や文化に関わる講演会を開催します。

15-3 是川縄文の日

◎11月3日（火・祝）
是川の縄文遺跡を知ってもらうため、楽しみながら学べるイベントを開催します。

16 八戸市南郷歴史民俗資料館 無



終戦前に築かれたトーチカや、戦後の町並み、住宅の居間などを館内に再現し、当時使われていた道具や製品で、昭和の生活文化の移り変わりについて紹介します。

●無料（11月3日（火・祝））展示室無料開放

開 9:00～17:00（最終入館 16:30）
休 月曜日（第1月曜日または祝日・振り替え休日を除く）、祝日・振り替え休日の翌日（土・日曜日、または祝日の場合を除く）、年末年始（12/27～1/4）
所 八戸市南郷大字島守字小山田 7-1
電 0178-83-2443
http://www.hachinohe.ed.jp/haku/nango/

16-1 企画展「葉たばこ農家の一年」

◎10月3日（土）～令和3年3月21日（日）

生産者に一年密着した調査結果と、資料館所蔵の資料から、南郷地区の大切な文化である葉たばこ産業を紹介します。

16-2 なんごうあそびのひろば「芸術の秋 落ち葉×パステルdeアート」

◎11月3日（火・祝） ①11:00～12:00 ②14:00～15:00

お気に入りの落ち葉を使って、簡単に鮮やかなパステルアートを描いてみませんか。是非、ご家族で自然豊かな南郷の秋を感じながら、三色のパステルで様々な色を作って楽しみましょう。（要予約）

17 櫛引八幡宮 国宝館 無



鎌倉時代に創建された、南部藩総鎮守の神社。所蔵の国宝・赤糸威鎧をはじめとした宝物、国指定重要文化財の本殿など、境内全体が文化財となっています。

●無料（10月31日（土）、11月1日（日））中学生以下

開 9:00～17:00
休 なし
所 八戸市八幡字八幡丁 3
電 0178-27-3053
http://www.kushihikihachimangu.com/

18 十和田市現代美術館 無



草間彌生、奈良美智、ロン・ミュエクなど世界で活躍する作家の作品を展示。美術館だけでなく、周辺には心躍るアート広場があり、散策しながら魅力あるアートを楽しむことができます。

●無料（通年）高校生以下のみ 常設展・企画展

開 9:00～17:00（最終入館 16:30）
休 月曜日（祝日の場合は翌日）
所 十和田市西二番町 10-9
電 0176-20-1127
http://towadaartcenter.com

19 十和田市馬事公苑 称徳館 無



称徳館は全国的にも珍しい馬の文化資料館で、馬に関する歴史資料や美術品など約5千点を展示しています。また、苑内には「駒っこ牧場」や「交流館」、遊具も設置され家族連れに人気です。

●無料（10月24日（土）～25日（日））高校生以上 常設展示

開 9:00～16:30（最終入館 16:00）
休 毎週月曜日 月曜日が祝日の場合翌日、年末年始 12/29～1/3
所 十和田市大字深持字梅山 1-1
電 0176-26-2100
http://komakkoland.jp/

19-1 「民話を楽しむ日」

◎10月25日（日） 10:30～14:00

紙芝居、南部弁語り、劇など

20 六ヶ所村立郷土館 無



六ヶ所村のジオラマや農具、漁具、12,000年前の土器、縄文時代の人骨をもとに復元した対話式ロボット「縄文美子」などを展示。屋外には縄文・弥生・平安の竪穴住居を復元している。無料体験学習コーナーで勾玉作り等もできます。

●無料（通年）

開 9:00～16:00
休 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
所 六ヶ所村大字尾駁字野附 535
電 0175-72-2306
http://www.r-kk.com/

21-1 階上町民文化祭



◎10月31日（土）～11月1日（日）
9:00～16:00

【会 場】ハートフルプラザ・はしかみ 他
（三戸郡階上町大字道仏字天当平 1-87）

【問合せ】0178-88-2698

当日は、幼児、小中学校、町民の作品展をはじめ、産業展、野外販売などを行います。

https://www.town.hashikami.lg.jp/